

計画の概要

「山形県自転車ネットワーク計画」

山形県自転車活用推進計画※に掲げた自転車が安全で快適に通行できる環境の整備などの目標を達成するための具体的な取組み。

■ 対象区域 山形県全域

■ 計画の構成

- 1 広域的なサイクリングモデルルートの設定
- 2 自転車通行空間の整備方針
- 3 路面標示、案内看板等の整備及び管理方針
- 4 サイクリング環境の向上と情報発信による観光立県の推進方針

※ 山形県自転車活用推進計画

自転車活用推進法第10条の規定に基づく都道府県自転車活用推進計画で、地域の实情に応じた自転車の活用の推進に関する施策を定めた計画。

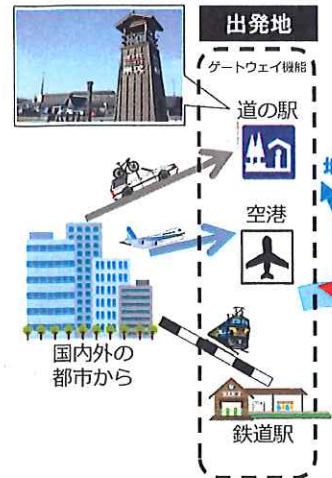
安全に走行できる環境整備や自転車利用者の健康増進、サイクルツーリズムによる観光振興、事故のない安全・安心な自転車の活用に資する4つの目標と具体的な取組みを定め、令和元年8月に策定。

1 広域的なサイクリングモデルルートの設定

※ 具体のルートは、次ページ参照

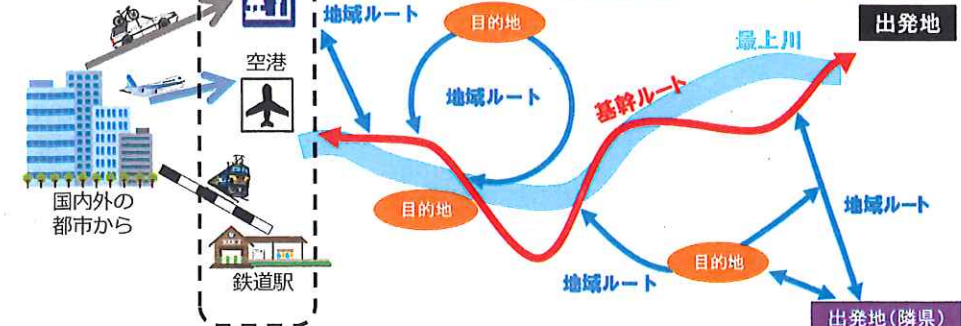
◆ 出発地

県内外から来訪する際の玄関口（ゲートウェイ）となる主要な鉄道駅や空港、道の駅



◆ 目的地

利用者や観光入れ込み客数の多い各地域特有の魅力をもつ場所（温泉街、名所・旧跡観光地等）



- 基幹ルート 最上川に沿って県内4地域を縦断するルート
- 地域ルート 県内の来訪ニーズの高い観光地等と基幹ルートを繋ぐルート

2 自転車通行空間の整備方針

◆ 自転車通行空間の整備形態



自転車と自動車が車道内で混在通行する、車道混在型で整備します。

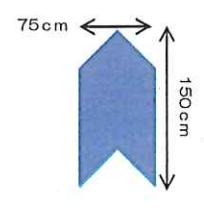
◆ 自転車通行空間の設計の基本的な考え方



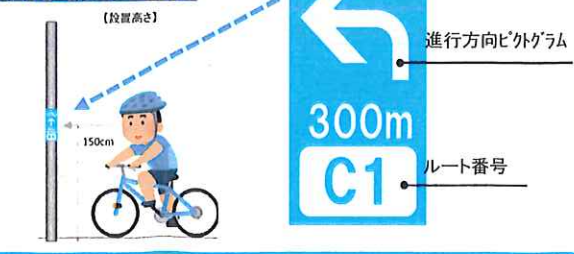
自転車通行の安全性向上のため、通行を妨げる段差等の無い構造に努めます。

3 路面表示、案内看板等の整備及び管理方針

◆ 矢羽根型路面表示



◆ 案内看板(シール)



サイクリストに通行する位置を示す「矢羽根型路面表示」を設置します。ルートの案内は、道路照明灯などの支柱に「案内看板シール」を貼り付けます。

4 サイクリング環境の向上と情報発信による観光立県の推進方針【観光文化スポーツ部】

◆ 情報発信



◆ 受入環境整備の取組み(民間施設)

【先進地の事例】



「山形県観光ポータルサイト」「やまがたへの旅」での情報発信や受入環境整備の取組みを進めます。

広域的なサイクリングモデルルート



基幹ルート

ルート番号	延長	ルートが跨る地域	ルートの概要
K1	191.0km	置賜→村山→最上→庄内	県内4地域を通り、初心者にも走りやすいルート

地域ルート

ルート番号	延長	ルートが跨る地域	ルートの概要
C1	162.0km	置賜→村山→庄内	米沢市から山形市街地や六十里越街道を經由し加茂池に至る観光地を巡るルート(六十里越街道:中級者向けヒルクライム)
C2	31.3km	置賜(福島県への情報アクセス)	米沢市を出発して小野川温泉や白布温泉を經由し、福島県へ向かうルート(西吾妻スカイバレー:上級者向けヒルクライム)
C3	17.1km	置賜	高畠町から赤湯温泉を經由し、基幹ルートに連絡するルート
C4	56.2km	置賜	白川町から(道の駅)から飯豊町を經由し、基幹ルートに連絡するルート
C5	30.0km	村山	上山市から蔵王温泉や山形県観光物産会館などを周回するルート(蔵王坊平・中・上級者向けヒルクライム)
C6	26.7km	村山	上山市から山形市西部を縦断をしながら山形市街地を迂回し、基幹ルートに連絡するルート
C7	13.8km	村山(宮城県への情報アクセス)	蔵王から宮城県へ向かうルート(蔵王エコーライン:上級者向けヒルクライム)
C8	16.8km	村山	宮城県からの玄関口となる山寺から天童温泉を經由しC11ルート(国道112号)に連絡するルート
C9	115.8km	村山→最上	水戸江市から十部一峠で射折温泉を經由し、青沢峠(国道244号)を経て酒田市に至るルート(十部一峠、青沢峠:上級者向けヒルクライム)
C10	5.5km	村山	山形空港から基幹ルートに連絡するルート
C11	61.3km	最上→村山	折庄駅から清見温泉を經由し、山刀俊峠を経て基幹ルートに連絡するルート(山刀俊峠:中級者向けヒルクライム)
C12	17.2km	最上	C11ルート(国道47号)から最上小国川沿いを經由し基幹ルートに連絡するルート
C13	23.9km	庄内	基幹ルート(国道47号)から羽黒山を經由しC11ルートに連絡するルート
C14	78.1km	庄内(新潟県、秋田県への情報アクセス)	日本海沿岸を新潟県境から秋田県境へ向かうルート
J1	21.8km	置賜	米沢県南公園自転車道線
J2	37.3km	村山	間沢宍野江山形自転車道線
J3	16.8km	庄内	立川蔵崎自転車道線
	731.6km		地域ルート(17ルート)

これまでの主な検討結果

◆ 山形県自転車ネットワーク計画策定検討会
【委員:学識経験者、観光事業者、道路管理者等11名】

R1.11.15	第1回山形県自転車ネットワーク計画策定検討会	検討会の進め方の確認 ルート設定の考え方等
R2.1.28~2.4	県内4ブロック意見交換会	ルート設定、整備・管理方針、受入環境整備等に関する意見交換
R2.8.7	第2回山形県自転車ネットワーク計画策定検討会	モデルルート、整備・管理方針、受入環境等の各原案の検討
R2.11.12	第3回山形県自転車ネットワーク計画策定検討会	山形県自転車ネットワーク計画(原案)の検討

今後のスケジュール

R2.2.15	県議会12月定例会	建設常任委員会において計画(原案)の報告
R2.1~2月	パブリック・コメント	パブリック・コメントの結果を踏まえた計画(最終案)の検討
R2.3月	県議会2月定例会	建設常任委員会において計画(最終案)の報告

R2.3月 山形県自転車ネットワーク計画策定

※ 交通量が多く道路の幅員が狭いため、輸行(鉄道等を使用して自転車を運ぶこと)をおすすめする区間。バイパス開通後にモデルルートとして推奨する区間